町民の方に知ってもらいたい情報をご紹介！
あなたはこの情報を知っていますか？

見る知る 深める 新得町

No.18

新得町観光協会 レンタカーサービス

町観光協会はオリックスレンタカーと業務提携を交わし、レンタカーサービスを行っています。

昨年度は110件の利用があり、観光客のほか、町内の方にも家族や親戚が帰省した際などに利用されています。

【いつでもレンタルできるの？】
レンタルは**完全予約制**で、利用の2日前の正午までにお申し込みが必要です。
レンタルは通年可能です。

【予約や受け渡しの窓口は？】
予約の窓口と受け渡しの窓口は異なりますのでご注意ください。

■ご予約、お問い合わせ
《町観光協会 64－0522》
【受付時間 平日 9時～17時】

■受け渡し・返却、お支払い窓口
《ステラ☆ステーション（新得駅構内）》

■受け渡し・返却場所
《新得駅前》

コンパクトカーのほかミニバン、RV車、商用車などもレンタルできますよ！

新得駅前で レンタカーサービス

ちょっとそこまでいきたい・・・

ビジネスも　観光も

全車種 ナビ&ETC 標準装備

受付期間　通年
受付時間　9：00～17：00
完全予約制（ご利用の2日前の正午まで）
金　額　普通車　5，940円～
お申込み・お問い合わせは
0156－64－0522
新得町観光協会

郷土の歴史を新得町郷土研究会がご紹介します
一緒に歴史の散歩に出掛けましょう

しんとく歴史散歩

No.42

北海道拓殖鉄道「屈足駅」

十勝北部の地域開発と入植者の定住促進を図るため大正14（1925）年4月22日、東京市において資本金300万円で北海道拓殖鉄道株式会社が設立されました。直ちに第1期線の新得ー鹿追間の工事に取りかかり、昭和3（1928）年12月15日、鹿追までの営業運転が開始されました。

この時、屈足20号の南に屈足駅が開設され、地域住民にとっては大きな喜びとなりました。これまで、岩松やトムラウシから切り出された木材は、馬車鉄道（馬鉄）によって新得駅まで直接運ばれていましたが、屈足駅の開設によって、屈足ー新得間は拓殖鉄道が使われるようになりました。

敷設工事は順次進められていき、昭和6（1931）年11月15日、新得ー上士幌間54・3㌔が開通しました。

しかし、上士幌から足寄までの間は、建設費が捻出できないうえ、既に国鉄網走線（旧ふるさと銀河線）が開通していて利用が見込まれないため、同区間の免許を放棄しました。

その後、電源開発工事や新得営林署の設置により拓殖鉄道の利用が増加し、屈足市街も活気溢れる街並みとなりました。

昭和37（1962）年の台風により鉄橋や線路、トンネルなどに大きな被害を受け、さらに、トラック輸送とマイカーの急激な普及もあって利用が徐々に減少し、苦しい経営が続くことになりました。

こうした状況から鉄道の廃止が余儀なくされ、昭和43（1968）年7月31日、40年の歴史に終止符が打たれました。

屈足駅跡には平成15（2003）年11月、新得町教育委員会と新得町郷土研究会により史跡銘板が立てられています。

屈足駅を清掃する屈足南小学校児童（昭和30年代）

町長室から こんにちは

新得町長　浜田正利

最近の話題から三点ご報告します。

一点目は、3月をもって閉校となる新得高校についてです。

3月1日に最後の卒業式が行われ、卒業生13人一人一人に卒業証書が手渡されました。

振り返ると、昭和23年10月に清水高校新得分校として開校（新得中学校に併置）、昭和27年4月に新得高校として独立し、昭和37年4月から全日制としてスタート（昭和40年3月に北海道に移管）から数えて第55回目の卒業式でした。

これまでの間、多くの同窓生（定時制を含め5033人）や町民の皆さんに支えていただいたことに心より感謝申し上げます。

二点目は、国の方針として決定した今年のゴールデンウィーク（4月27日から5月6日まで）の10連休についてです。

すべての行政サービスを10日間にわたり休止することはできないと考えており、内部で対応を検討しています。

なるべく早い時期に対応をお知らせします。

三点目は、10月からの消費税率の引き上げに伴う公共料金への対応です。

外税にしている上・下水道使用料、簡易水道料金、国民宿舎東大雪荘利用料金、トムラウシ自然体験交流施設使用料金、町営育成牧場利用料について消費税分のみ値上げを予定しています。

公共料金については、行政コストの観点から経費削減を念頭に値上げを極力抑えるよう努力をしていかなければと考えています。

先月号でもお知らせした雪の状況ですが、2月末までの降雪量は168㌢で平年（420㌢）の40％であり、積雪は27㌢で平年（52㌢）の52％です。

新得山スキー場は2月9日にオープン（最も遅かった平成26年1月29日を更新）しましたが、2月25日までのわずか17日間で営業が終了しました。

皆さんの平成31年度予算を審議いただく予算議会が3月4日から22日まで開催します。

ぜひ議論を聞いていただきたいと思います。

短歌

新得短歌会

歩けども尚歩けども追いつけぬ
脚あと残す雪深き道
池田　一歩

新しき家建つらむかブルドーザー
地ならしすすむ師走中の日
石本　洋

いずこでか腹を満たして鴉らの
何時ものコース辿りしごとく
小関　白潮

凍てつきし息こらし見る月　二月
短歌人偲ぶ四十九日に
中井由利子

雪降りて白い平原風舞いる
春の妖精声もきこえし
小野　恭子

戦争への一番近道「無関心」
殉公家族の痛み忘れじ
菊池　水月

武四郎敬い展示をそろそろと
開拓の祖に重ね身に染む
齊藤美代子

遺品なる亡父の日記を持ちくれば
告げることなき戦地記されぬ
高橋　幸子

風邪ひいた雪の布団が薄いから
秋に蹲かれたボクらの根っこ
岡田御狸裸

俳句

新得俳句同好会

きのうより今日の日差しや春隣り
八木　育子

雑木林寒を脱ぎたる明るさに
高橋　民女

夕映えの流氷呻く浮寝鳥
大崎かずお

春遅し薪積む家の窓明り
袴田ゆき男

惚け防止凍てる歩幅にフマネット
渡辺アヤ子

摺り足で歩む齢や道凍てる
月井　愁峰

晩年は妻に従ふ鬼やらひ
中島　土方